

## 平成26年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究成果公開促進費）実績報告書

平成26年11月 4日

独立行政法人 日本学術振興会理事長 殿

課題番号	2	6	0	3	0	7	
------	---	---	---	---	---	---	--

主催団体 所在地	〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鎌屋町167番地 ビューフォト五条烏丸3階		
主 催 団 体 名	公益社団法人 日本放射線技術学会	代表者職名 代表者氏名	代表理事 真田 茂 印

平成26年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究成果公開促進費）**研究成果公開発表(C)  
【準備及び開催経費】**について、下記のとおり補助事業の実績を報告します。

国際シンポジウム・国際会議等名	和文名：第2回国際放射線技術科学会議 (英文名) The 2nd International Conference on Radiological Science and Technology (ICRST)		
実施主体	公益社団法人 日本放射線技術学会 第2回国際放射線技術科学会議 実行委員会	代表者職名 代表者氏名	大会長 真田 茂
開催日	平成26年10月10日（金）～平成26年10月10日（金）（1日間）		
会場名	札幌コンベンションセンター 開催地：北海道、札幌市		
参加者数 (※交付申請書に記載した参加予定者数)	参加者総数 229 人 ( 300 人) ※	外国人参加者数 11 人 ( 50 人) ※	

## 費目別収支決算表

実支出額の 使 用 内 訳	合 計	会場借料	消耗品費	旅 費	人件費・謝金	その他の 収支額
	3,200,192 円 (192円は利息)	500,000 円	0 円	301,778 円	880,462 円	1,517,952 円
交付申請書 に記載した 補 助 金 の 使 用 内 訳	合 計	会場借料	消耗品費	旅 費	人件費・謝金	その他の 収支額
	3,200,000 円	400,000 円	10,000 円	1,380,000 円	260,000 円	1,150,000 円

国際シンポジウム・国際会議等の目的	<p>日本放射線技術学会（以下、本学会）は1942年に創立以来、多くの海外の学術集会にての研究発表や論文発表がその成果として認められている。特に近年では、英語論文誌の発刊や国際シンポジウムの開催など、学会の国際化と会員の英語力の向上に力を注いでいる。</p> <p>前回、本学会が企画し、本研究成果公開発表（C）で採択され、2011年10月29日に神戸で開催された第1回国際放射線技術科学会議では、日本の技術力を世界にアピールするために、医療画像の3次元的な解析を応用した研究発表が、国内外240名の研究者が参集した。本学会ではさらに学会の国際化を推進し、2016年の学会発表スライドの全英語化、2021年の口述発表の50%の英語化を目指している。今回、第2回の国際放射線技術科学会議を開催することで、さらに会員の国際化への意識を高め、さらに日本が世界に誇ることのできる放射線技術学分野における科学技術力を広く海外にアピールすることが可能になると考える。これらの国際的な活動にて世界に通用する医療人育成や世界に通じる医療機器開発の活性化を目的とする。</p>
国際シンポジウム・国際会議等の概要	<p>優れた研究成果を日本国内から世界に発信することで日本が世界に誇る放射線技術学に関する科学技術力をアピールすることを目的に、以下の概要にて国際会議を開催した。会議名称は、「The 2nd international conference on radiological science and technology (略称 The 2nd ICRST)」とし、その日本語名称は、「第2回 国際放射線技術科学会議」として、広く演題を募集した。メインテーマは、「Optimization and personal control of patient dose in clinical medicine」（日本語訳メインテーマ：医療被ばくの最適化と個人管理）とし、線量の最適化や被爆線量の演題の応募を受けた。平成26年10月10日（金）8:50から、開会のあいさつとともに、セッションが開始され、18:00の閉会までに、札幌コンベンションセンターの中ホール会場に多くの聴衆が訪れた。講演は海外講師2名、国内講師1名による特別講演及び教育講演を英語で行った。一般研究発表は、国内、海外から29題の応募を受け、英語による口述発表・質疑応答を実施した。会場からは多くの質問があがり、発表者はこれまでの研究成果及び調査結果を踏まえて、適切に回答行った。</p>
国際シンポジウム・国際会議等のプログラム内容	<p>08:50 - 09:00 Opening Ceremony      09:00 - 09:50 General Session1(Team medicine, MRI, SPECT/CT) ; 5 titles      10:00 - 11:00 General Session2(CAD, Tomosynthesis, Others) ; 6 titles      11:10 - 12:00 Theme Session1(Patient Dose Optimization, Others) ; 5 titles      12:15 - 13:15(Luncheon) Educational Lecture :          Dr. Xiang Li, Cleveland State University “A framework for formulating size-specific pediatric CT protocols for a given diagnostic task”      13:30 - 14:10 General Session3(CT) ; 4 titles      14:10 - 14:50 Theme Session2(Patient Dose Optimization in CT) ; 4 titles      15:00 - 16:00 Special Lecture :          Dr. Donald P. Frush, M.D., FACR, Duke University School of Medicine, “The partnership of art and science in personalized imaging: Lessons learned from computed tomography in children”      16:10 - 17:00 General Session4(Radiation Therapy ; 5 titles      17:10 – 18:00 Educational Lecture 2 : Ikuo Kashiwakura          Vice president, Professor of graduate school of health sciences, Hirosaki University          “The activities of Hirosaki University with regard to radiation emergencymedicine”      18:00 – 18:10 Closing ceremony</p>

主催団体の事務連絡者	〒600-8107 所属・職名 公益社団法人日本放射線技術学会 事務局・事務局長 氏名 宮高 瞳 TEL: 075-354-8989 FAX: 075-352-2556 E-mail: master@jsrt.or.jp
------------	---